

各感染症対策主管課長
各医師会長 殿
定点観測医療機関長

福岡県医師会
会長 蓮澤 浩明
(公印省略)

福岡県結核・感染症発生動向調査解析委員会 週報

週報 令和7年—第41週 (R7.10.6~R7.10.12)

定点	病 名	定点報告数 (○: 警報レベル, □: 注意報レベル)						1定点当たり	
		36週	37週	38週	39週	40週	41週	福岡県	全国
		9/1~	9/8~	9/15~	9/22~	9/29~	10/6~	41週 10/6~	
ARI	急性呼吸器感染症	6133	6829	6314	6143	6531	6539	53.60	60.20
	インフルエンザ	146	281	197	189	242	261	2.14	2.36
	新型コロナ感染症	1133	1120	1004	740	512	402	3.30	3.72
小児科	RSウイルス感染症	333	230	230	216	214	195	2.79	1.63
	咽頭結膜熱	49	45	38	35	40	51	0.73	0.26
	A群溶血性連鎖球菌感染症	220	202	190	163	216	216	3.09	1.93
	感染性胃腸炎	403	362	395	370	374	367	5.24	3.92
	水痘	14	21	13	18	12	14	0.20	0.22
	手足口病	38	31	12	31	21	38	0.54	0.36
	伝染性紅斑	○271	○191	○175	○159	○148	○151	○2.16	1.25
	突発性発疹	28	39	31	27	34	25	0.36	0.28
	ヘルパンギーナ	7	9	9	11	7	3	0.04	0.45
	流行性耳下腺炎	3	2	3	2	6	3	0.04	0.05
	川崎病 (MCLS)	8	8	3	7	6	3	0.02	
	マイコプラズマ肺炎	36	39	34	34	48	48	0.40	
	細菌性咽頭炎	0	0	0	0	0	0	0.00	
	無菌性咽頭炎	0	0	0	0	0	0	0.00	
	急性虫歯炎	0	1	0	2	0	0	0.00	
眼科	急性出血性結膜炎	1	1	0	0	1	3	0.12	0.02
	流行性角結膜炎	34	32	43	39	42	30	1.15	1.05

月報 令和7年—9月 (R7.9.1~R7.9.30) (STD 定点数37)

病 名	定点報告数	前月比	主な増加地区等	1定点当たりの患者数	
				福岡県	全 国
性器クラミジア感染症	142	115%	福岡73、北九州47	3.84	2.74
性器ヘルペス	49	104%	福岡17、北九州16	1.32	0.97
尖圭コンジローマ	22	105%	福岡13、北九州5	0.59	0.54
淋菌感染症	46	107%	筑後27、福岡9	1.24	0.83

■ 総 評

▽ 2025年第41週: R7.10/6-10/12はインフルエンザが今週も増加、定点当たり2.14で6週連続1.0以上、キットではA型168人、B型1人。新型コロナは多発が続くが定点当たり3.30と減少傾向。RSウイルス感染症は多発だが減少傾向。福岡県では伝染性紅斑は第20週から警報レベルが続く。麻疹が全国的に多発し、福岡県も8月以降に18人の報告がある。百日咳の報告が多い。
検査定点医療機関にはインフルエンザの検体提出をお願いします。

■ ARI (R7.15週より内科定点数78-52 ※ARI定点は内科定点と小児科定点によって構成)

- ※ 急性呼吸器感染症: 5週間前から6133、6829、6314、6143、6539と推移、大きな変動はない。
- ※ インフルエンザ: 今週も増加、定点当たり2.14(前週1.98; 20歳以上19.2%)と6週連続1.0以上、キットではA型168人、B型1人、全国定点当たり2.36(前週1.56)。
- ※ 新型コロナ感染症: 多発が続くが、減少傾向(20歳以上56.5%)、定点当たり3.30(前週4.20)、全国定点当たり3.72(前週4.82)。

■ 小児科 (R7.15週より小児科定点数120→70)

- ※ RSウイルス感染症: 4歳以上8人。多発だが減少傾向。
- ※ A群溶レン菌咽頭炎: 発疹合併: 2歳女、3歳男、5歳男(猩紅熱)、6歳女(猩紅熱)。
- ※ 感染性胃腸炎: 3歳以下51.5%。
 - ・カンピロバクター: 9歳男。
 - ・サルモネラ: 04群: 2歳女、07群: 3歳女、6歳女。
 - ・大腸菌: 2歳男にO25。
 - ・ロタウイルス: 報告なし。
 - ・アデノウイルス: 報告なし。
 - ・ノロウイルス: 報告なし。
- ※ 水痘: 15歳以上1人。ワクチン済例: 6歳男(R2. 2/5にVZ274、R2. 8/25にVZ285; 軽症)、7歳女(R1. 11/20にVZ265、R2. 10/9にVZ287; 軽症)、8歳男(H30. 2/27にVZ222、H30. 9/14にVZ237; 中等症)、9歳女(H29. 8/18にVZ208、H30. 10/16にVZ240; 軽症)、9歳女(H30. 2/9にVZ222、R1. 5/28にVZ251; 軽症)、15歳女(H24. 1/23にVZ067; 軽症)。
- ※ 伝染性紅斑: 多発が続き、第20週から警報レベルが続く。
- ※ 流行性耳下腺炎: 15歳以上0人。ワクチン済例: 報告なし。
- ※ マイコプラズマ肺炎: 15歳以上3人。報告が続く。抗原検査: 15歳男。遺伝子検査: 1歳男、4歳男、10歳女、11歳女。抗体検査: 8歳女(PA: 640)。
- ※ その他の疾患: ヒトメタニューモ: 1人。前週0人、今週1人と増加。

■ 眼科 (眼科定点数26)

- ※ 流行性角結膜炎: キット陽性: 8か月女、2歳女2人、5歳女、20歳男、34歳女、44歳男、45歳男、49歳女。定点外: 9か月女、1歳男、女、2歳女、6歳女。

■ 基幹 (基幹定点数15)

- ※ マイコプラズマ肺炎: 1歳男、2歳男、3歳女、4歳女、5歳女2人、6歳男、女、7歳女、8歳女、12歳女、13歳女、14歳女、15歳男。

■ 日本脳炎

- ◎ 日本脳炎情報: 県内のブタ血清検査; 6/16(本年初回)、6/23、7/7、7/22、8/4、9/8、9/22採血の10頭中の全てが抗体価陰性、8/25の10頭全てが抗体陽性となり、9/2に県民に対して日本脳炎注意喚起が出された[福岡県がん感染症疾病対策課]。

■ 全数報告

- ※ 腸管出血性大腸菌: 全国今週73人、全国累計3323人、福岡県今週5人、福岡県累計233人。
- ※ エムボックス: 全国第40週1人(東京)、全国累計6人(東京3、京都1、大阪1、兵庫1)。
- ※ 重症熱性血小板減少症候群: 全国今週1人、全国累計170人、福岡県第37週に1人、福岡県累計5人。
- ※ デング熱: 全国今週5人、全国累計135人、福岡県第41週に1人、福岡県累計10人。
- ※ 日本脳炎: 全国第41週に1人(長崎)、全国累計1人(長崎1)。
- ※ 劇症型溶レン菌感染症: 全国累計1115人、福岡県累計58人。
- ※ 梅毒: 全国累計10985人、福岡県累計584人。
- ※ 百日咳: 全国累計81828人、福岡県累計2958人。9歳女はPCR陽性、9歳女、15歳男はLAMP陽性。
- ※ 風しん: 全国第41週に0人、全国累計10人(秋田1、栃木1、東京1、神奈川1、富山1、静岡1、三重1、京都1、大阪1、山口1)。
- ※ 麻しん: 全国第41週に2人(京都、福岡)、全国累計231人(北海道～沖縄; 福岡22、熊本1、大分2、鹿児島1、沖縄1)。

※ 福岡県医師会ホームページの感染症情報欄にも掲載されていますので下記URL及びQRコードよりご参照下さい。

URL: https://www.fukuoka.med.or.jp/doctors/kansenshou/_11717.html

ホーム>医師の皆様>感染症・予防接種>感染症発生動向調査

青木 知信



定点把握対象疾患 1 定点医療機関当たり患者数 【保健所別】

定点把握対象疾患 報告数 【年齢階級別】

[illegible]

全数把握対象疾患発生状況

令和7年－第41週(R7.10.6～R7.10.12)

感染症 類 型	日付 疾病名	福岡累計					福岡					全国
		2020	2021	2022	2023	2024	38週	39週	40週	41週	25年 累計	41週
二類	結核	759	757	733	718	883	10	10	13	9	583	221
三類	細菌性赤痢	1			1	2					2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	181	182	254	215	172	8	7	10	5	233	73
	腸チフス				2	3					4	
	パラチフス											
四類	E型肝炎	4	6	1	9	8			1		5	11
	A型肝炎	5	2	5	3	11		1			7	
	エムボックス				1	1						
	ジカウイルス感染症				1							
	重症熱性血小板減少症候群	2	1	5	2	4					5	1
	チクングニア熱			1	1	1					5	
	つつが虫病	4	3	7	6	1					1	
	デング熱	1		10	14	10			1	1	10	5
	日本紅斑熱		7	6	11	8	2	2		1	13	24
	ボツリヌス症	1										
	マラリア	2		1	2	1						
	ライム病			1	1						1	
	レジオネラ症	56	60	71	89	77	4	1	1	3	59	60
	レプトスピラ症		1	3		3						6
五類	アメーバ赤痢	14	17	26	22	25					17	8
	ウイルス性肝炎	13	8	6	9	6					7	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	116	128	110	112	147	1	1		2	64	18
	急性弛緩性麻痺	2		3	5	1					1	
	急性脳炎	24	22	22	35	29		2			30	4
	クリプトスポリジウム症	1			2	1						
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	7	9	6	6					3	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	26	23	32	48	67	1		3		58	18
	後天性免疫不全症候群	41	54	63	59	56		1	1		35	8
	ジアルジア症	1	2	2	1	3						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	14	14	13	19	28					22	9
	侵襲性髄膜炎菌感染症			1		3					3	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	79	81	64	89	116	1			2	105	18
	水痘(入院例に限る)	17	16	5	12	27					24	3
	梅毒	314	348	566	942	880	10	14	8	11	584	165
	播種性クリプトコックス症	6	5	3	10	7	1		1		9	2
	破傷風	3	2	3	6	1						1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	9	3	5	4							
	百日咳	105	29	25	24	216	39	38	37	33	2,958	944
	風しん	5		1	1							
	麻しん	1	1			1				1	22	2
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1	1	1								
計		1811	1780	2058	2482	2805	77	77	76	68	4,870	1,606

全数把握対象疾患発生状況（保健所別）
令和7年－第41週（R7.10.6～R7.10.12）

感染症 類 型	保健所 疾病名	保健所													計
		北九州市	福岡市	久留米市	宗像・遠賀	粕屋	筑紫	糸島	田川	北筑後	南筑後	京築	嘉穂・鞍手		
二類	結核		4				3				2			9	
三類	細菌性赤痢														
	腸管出血性大腸菌感染症		1	2		1	1							5	
	腸チフス														
	パラチフス														
四類	E型肝炎														
	A型肝炎														
	エムボックス														
	ジカウイルス感染症														
	重症熱性血小板減少症候群														
	チクングニア熱														
	つつが虫病														
	デング熱		1											1	
	日本紅斑熱						1							1	
	ポツリヌス症														
	マラリア														
	ライム病														
	レジオネラ症		1		1								1	3	
	レプトスピラ症														
五類	アメーバ赤痢														
	ウイルス性肝炎														
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		1	1										2	
	急性弛緩性麻痺														
	急性脳炎														
	クリプトスポリジウム症														
	クロイツフェルト・ヤコブ病														
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症														
	後天性免疫不全症候群														
	ジアルジア症														
	侵襲性インフルエンザ菌感染症														
	侵襲性髄膜炎菌感染症														
	侵襲性肺炎球菌感染症		2											2	
	水痘（入院例に限る）														
	梅毒		7	3		1								11	
	播種性クリプトコックス症														
	破傷風														
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症														
	百日咳		22	1	1		3		3	2			1	33	
	風しん														
麻疹					1								1		
薬剤耐性アシネトバクター感染症															
計			39	7	2	3	8		3	2	2		2	68	